

項目	内容
名称	バロタ・ニグラ、クロニガハッカ [英]Black Horehound、Ballota [学名]Ballota nigra
概要	バロタ・ニグラはヨーロッパに広く分布するシソ科の多年草。高さ30~100 cm程度に生長する。主に地上部が利用される。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・ジテルペン類 (バロノチン (ballotinone) 、バロテノール (ballotenol) 、バロニグリン (ballonigrin) 、マルビン (marrubiin) など) (33) (81) (101) 、フェニルプロパノイド類 (PMID:10683711) 、コーヒー酸、フェルラ酸、タンニン類、揮発性油 (101) などを含む。</p>
分析法	-
有効性	
ヒトでの 循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ
(81) Herbal Medicines Third edition (Pharmaceutical Press)
(101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson
[\(PMID:10683711\) Arzneimittelforschung. 2000 Jan;50\(1\):16-23.](#)